



発行所 秋田県合川町役場
責任者(広報係)杉澤佐一郎
(職務電話 4番・14番)
〔発行部数 2,600〕

新年度の施政の方針

予算町議会から



さきごろ開かれた第一回定例会(予算議会)において、
鳥山町長は次のように新年度の施政方針を明らかにし
ました。施政方針は、町がこし一年をこのように進
めたいということを予算案の提出とともに町長が議会
で述べたもので、わたくしども町政をよく知り、その方向にみんなが
歩調をあわせて進みたいものです。次に、その要旨をご紹介します。

依然として続 く苦しい財政 状態

わが合川町の県案事項で
あった合川中学校の完成は
町議会現任期の最大事業で
あり、その功績こそ、中原
にたてられた全町平和の塔
であると確信するものであ
ります。この結果、町で
は財政的に一般会計におい
て約一、七〇〇万円の赤字を
外義務負担(実質赤字)をも
たらし、昭和三十八年度追
加更正予算において約二、五
〇〇万円、昭和三十九年度予
算で約三、〇〇〇万円、合せて
五、五〇〇万円の回復を計るよ
う措置しました。

一日一回は 親切を

県広報誌 「あきた」 を読みましょう

県内各町村の
出来ごと「あり
きた」を発行し
ておられます。
希望者は役場
に申し出て、
月刊誌で一部
40円です。

しみとし、その悲しみを悲
しみとし、ヒザを交えて語
り合わなければならない。
共に苦しまざる者は共に笑
う資格がない。事の大小に
よらず、上司の命令のみに
頼らず積極的に自己の考え
を町政に反映させるべきで
ある。また、指揮命令によ
って町民の意志を左右して
はならない。あくまでも、
奉仕者であるとの原則を忘
れてはならないと考えてい
るからであります。

私は、この際とくに町議
会議員、町職員に別なく町
民奉仕への基本を確立する
ことに町議会のご協力を
お願いしたいと思うもので
あります。

絶対に必要な 部落づくり

近來、部落づくり運動が
町の各機関をはじめ青年、
婦人団体および農業団体な
ど各方面から波瀾のように
進められていますが、その
受け入れ態が同一であるの
に多様な指導が行なわれ
ていない実情のようであり
ます。もちろん、その多元
性は過渡的には必要と考
えられますが、いよいよ部
落の総意とともにその運動
を強力に推進するにすれば、
計画性と実効性を中心に問
題を集約する必要があると
の声を強まってきたので、
町としては、町機構の中に
その企画調整機関を設けて
農業団体等とも協力をか
かり、部落づくり運動の基
本を確立する方針でありま
す。

に経済と生活環境の変動に
対処するに無為無策で右往
左往の実態であることは全
く同情にたえないところで
あります。

私は、一月中旬京浜地方
に出張し、合川中学校を卒
業して同地区に就職してい
る青少年たちの自発的な集
団である「合川友の会」に
出席して強く心を打たれた
のでそのことについて申し
述べてみたいと思つていま
す。彼等はまだ成人に達しな
い若者であります。あんな
生存意欲の激しい社会で生
活し、そして力強く生き抜
く一役を背負う、いわゆる前
向きの姿勢で対策を考えな
ければならないと考えられ
ます。また、長期出稼労働
者の家庭環境の確立対策も
当然一貫的な部落づくり運
動の系列となるべきもので
あります。

建設事業 どうするか

昭和三十八年度に発生し
た美栄の溜池災害は、その
後町議会において町営で復
旧することに決議されまし
たが、新年度一四、三二二
千円の工費をもって着工完
成の見込みであります。

農林関係
前に部落づくり運動の推
進でも触れましたが、農業
施策については農協等農業
団体とその末端指導に農
意を調整するのみならず、
その指導を共同で行な
う方針を確立したいと考
えております。

諸施策を
どうするか
昭和三十八年度に発生し
た美栄の溜池災害は、その
後町議会において町営で復
旧することに決議されまし
たが、新年度一四、三二二
千円の工費をもって着工完
成の見込みであります。

建設事業
昭和三十八年度に発生し
た美栄の溜池災害は、その
後町議会において町営で復
旧することに決議されまし
たが、新年度一四、三二二
千円の工費をもって着工完
成の見込みであります。

新年度予算きまる!!

＝総額 160,692,000円＝
前年比 4,815,000円の増加
昭和三十九年度予算案を
はじめ、各議案(二十七件)
を審議する町議会第一回定
例会は去る二月二十四日に
招集され、会期を三月六日
までの十二日間と定め、連
日慎重な審議を続けた結果
六日の本会議でいよいよ原
案どおり可決された。



第一回定例町会

学校施設等
合川中学校職業課程特別
教室の建築に関しては、改
二面下段へつづく

一年ぶりに朗報

溜池の復旧着工決る

昨年四月の雪どけ災害で決壊した美栄地内の溜池が、一年ぶりでこの四月ごろから復旧工事に着手することにきまり、飯米確保の頼みの綱をたち切れ、一時は悲嘆のどん底に落ち込み、暗い表情を見せていた同部落二十六戸の住民も、この朗報によりややく明るさを取りもどしている。復旧工事は町の直営とし、全力をあげて突貫工事ですすめられるというが、その完成が今か待たれている。

千四百三十万円の町直営工事で

この溜池は、開拓地美栄の水田耕作用として去る昭和十八年につくられ、集水面積二十五万坪、満水時の湛水量は十二万八千立方メートルとなり、同部落十三戸の水田や木石地内の水苗代に灌漑水を送りつづけてきたものであった。ところが、昨年四月二十一日、雪どけ満水の水圧で底樋がメチャメチャにこわれ、使用不能になってしまった。

このため町では「融雪災害」適用方を農林省や県にかけ合っていたが、このほど総事業費一千四百三十一万円の町直営工事として認定され、復旧に着手することになった。

これよりさき、北秋田農林事務所土地改良課では恒久施設をつくるため同溜池周辺の地質調査を行なったが、原型復旧では再発生の危険度が高いことがわかった。これは、土質が軟弱で雪どけ期には、土質が軟弱で没するおそれがある。そこで同所では、この地質調査の結果を基礎に、標高五十坪の丘を切り開き延長約五百坪の開墾にする。

トンネルを掘って直径六十五坪のヒューム管を埋める。

トンネルをコンクリートで巻き固め、ヒューム管を配列する。

美栄

感謝してはいますが、当面の問題として復旧のために要する地元負担金三十一万円ほどをどうしてねん出するか、みんなではない思いをすることがあるところだ。

町内から火事を追放

町では、さきほど町消防課長、成田北秋田福小中学校、保育所などを主体にすすめることになり、町は広報を通じて予防運動や啓発宣伝のほか、火災予防条例の末端まで徹底する。特殊建物(学校などの防火管理体制の指導、消防団は一般町民、婦人会も加えた分団ごとの消防訓練を随時実施、部落では予防組合を中心に自主的な防火断を実施、婦人会と青年会が中心に自主的な防火断を実施、火災の取り扱いは、小中学校と保育所には、難口を設けること。

町内から火事を追放 推進協議会で話し合い

無火災 推進協議会

このため「火事の合川」 というありがたない汚名がつけられ、島山町長も県庁などに出かけるとあの大いなる決心をなさなければならないと思ふことがあつた。

このため「火事の合川」 というありがたない汚名がつけられ、島山町長も県庁などに出かけるとあの大いなる決心をなさなければならないと思ふことがあつた。

二階の寝室は危険

入りに内各階で火災による焼死者が相次ぎ、消防課の発表では、昨年同様の数より大きく上回っている。

二階の寝室は危険 火事から守ろう

老人 子供

を「追放」することについて熱心に討議、絶対に火事を出さない方針をきめた。わが町の火災件数は、大館、北秋田地区でいけば多いといわれ、昨年一年間に十一件、三千五百万円を灰にし、このほかボヤ程度のもので、火災発生率は、地区全体の三倍を示している。

このため「火事の合川」 というありがたない汚名がつけられ、島山町長も県庁などに出かけるとあの大いなる決心をなさなければならないと思ふことがあつた。

は寝室として使用しないように。二階の開口部には避難器具を設けておくこと。老人、子供、病人、酔っぱらいなどは避難しやすいために、二階に就寝させるようにはしない。

また、役員改選では新会長に桜田日出男君を選任したほか、新陣容を次のとおりきめた。

青年議会

町連青の事業と役員

町連合青年会では、このほど合川中学校で定期大会を開き、昭和三十一年度の運動方針と事業計画などをきめた。

事業計画には、中堅幹部講習会、青年一夜講習会、野外研修会、青年議会、文化祭などがあり、ともすれば不振になりがちな青年会

政治に比較的無関心

成人アンケートの結果

町公民館では、去る一月を集計した結果は次のとおり十五日の成人式当日に出席した「成人アンケート」の結果をみると、現代の青年たちの社会や生活にたいしての関心や、もの考へが平直に反映されている。アンケートは今年で同じ質問を三年間継続したが、公民館ではこれを資料としてこの社会教育に利用したいというところだ。

町議選の事前運動に自粛を望む

町会議員の選挙が近づいてきました。毎夜のようにお客さんの絶えないのは全くあきれてしましました。ハッキリいうと迷惑の上もありません。

遠回しに、その選挙の話が出たり、それとなく特定の(立候補予定者)をほめ上げたり、イヤな感じなどは、このことをいうのではな

加入しているか

加入しているか

▽青年会32▽青年学級6▽農協青年部5▽青、文化グループ各1▽加入していない51

これで見ると、半数の青年は組織化されていないようである。

親の扶養についての考え

親の扶養についての考え

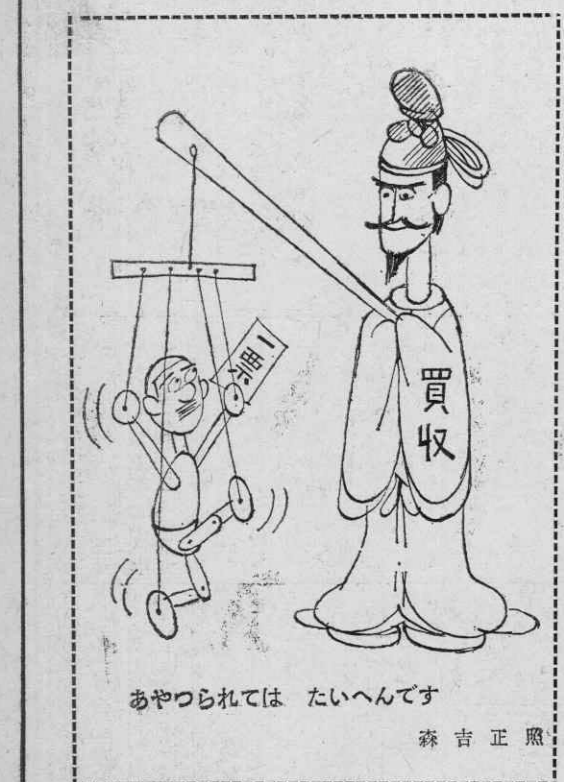
▽子供が全部で扶養すべきだ44▽考えたことがない18▽国の施設に収容すべき16▽長男が扶養すべきだ12

町及び町選管辞令

町及び町選管辞令 (三月十日付)

主 査 木村 清造
主 事 松岡 祐吉
同 事 杉浦 一郎
主 事 補 佐藤 陽三
雇 員 金田 功子

合川町選挙管理委員会書記を兼ねて命ずる。
(昭和三十一年三月十日から三月三十一日まで)



町議選の事前運動に自粛を望む

町会議員の選挙が近づいてきました。毎夜のようにお客さんの絶えないのは全くあきれてしましました。ハッキリいうと迷惑の上もありません。

遠回しに、その選挙の話が出たり、それとなく特定の(立候補予定者)をほめ上げたり、イヤな感じなどは、このことをいうのではな

政治に比較的無関心

成人アンケートの結果

町公民館では、去る一月を集計した結果は次のとおり十五日の成人式当日に出席した「成人アンケート」の結果をみると、現代の青年たちの社会や生活にたいしての関心や、もの考へが平直に反映されている。アンケートは今年で同じ質問を三年間継続したが、公民館ではこれを資料としてこの社会教育に利用したいというところだ。

加入しているか

加入しているか

▽青年会32▽青年学級6▽農協青年部5▽青、文化グループ各1▽加入していない51

これで見ると、半数の青年は組織化されていないようである。

親の扶養についての考え

親の扶養についての考え

▽子供が全部で扶養すべきだ44▽考えたことがない18▽国の施設に収容すべき16▽長男が扶養すべきだ12

町及び町選管辞令

町及び町選管辞令 (三月十日付)

主 査 木村 清造
主 事 松岡 祐吉
同 事 杉浦 一郎
主 事 補 佐藤 陽三
雇 員 金田 功子

合川町選挙管理委員会書記を兼ねて命ずる。
(昭和三十一年三月十日から三月三十一日まで)

町議選の事前運動に自粛を望む

町会議員の選挙が近づいてきました。毎夜のようにお客さんの絶えないのは全くあきれてしましました。ハッキリいうと迷惑の上もありません。

遠回しに、その選挙の話が出たり、それとなく特定の(立候補予定者)をほめ上げたり、イヤな感じなどは、このことをいうのではな

政治に比較的無関心

成人アンケートの結果

町公民館では、去る一月を集計した結果は次のとおり十五日の成人式当日に出席した「成人アンケート」の結果をみると、現代の青年たちの社会や生活にたいしての関心や、もの考へが平直に反映されている。アンケートは今年で同じ質問を三年間継続したが、公民館ではこれを資料としてこの社会教育に利用したいというところだ。

加入しているか

加入しているか

▽青年会32▽青年学級6▽農協青年部5▽青、文化グループ各1▽加入していない51

これで見ると、半数の青年は組織化されていないようである。

親の扶養についての考え

親の扶養についての考え

▽子供が全部で扶養すべきだ44▽考えたことがない18▽国の施設に収容すべき16▽長男が扶養すべきだ12

町及び町選管辞令

町及び町選管辞令 (三月十日付)

主 査 木村 清造
主 事 松岡 祐吉
同 事 杉浦 一郎
主 事 補 佐藤 陽三
雇 員 金田 功子

合川町選挙管理委員会書記を兼ねて命ずる。
(昭和三十一年三月十日から三月三十一日まで)

とくにこれらの人々のために次の日程で臨時に申告を受け付けることにしたので、申告をまだ済ませていない方は必ず申告されるようにと望んでいる。

なお日程は十八日および十九日の二日間毎日午前八時半から午後五時までであるが、不申告の場合はいらぬので注意してほしいとのことである。

町選管では、このほど委員会を開き町議会議員選挙の事務処理に当る事務局職員を担当を次のとおり決定した。

事務局の総括 書記長 木村士郎

選挙運動、ポスター 検印、標識の交付 書記 木村清造

文書受付、補充選挙人名簿 書記 松岡祐吉

広報、投票用紙 書記 杉浦一郎

庶務、告示 書記 鈴木運助

不在者投票、投票及び開票管理者、同立会人 書記 佐藤陽三

簿記 金田功子

町選管では、このほど委員会を開き町議会議員選挙の事務処理に当る事務局職員を担当を次のとおり決定した。

事務局の総括 書記長 木村士郎

選挙運動、ポスター 検印、標識の交付 書記 木村清造

文書受付、補充選挙人名簿 書記 松岡祐吉

広報、投票用紙 書記 杉浦一郎

庶務、告示 書記 鈴木運助

不在者投票、投票及び開票管理者、同立会人 書記 佐藤陽三

簿記 金田功子

